

❖ リーディングトラッカーを作ってみよう ❖

初回限定特別付録！
リーディングトラッカー！！

書類や本を読む時、葉や定規を当てて一行ずつ確認することってありますよね。

実は専用のグッズがあります。リーディングトラッカー（またはタイポスコープ）と言い、「その一行」に集中して読めるように、周りの行を隠してくれるものです。元々は視覚に障害のある方の読書をサポートするための道具でしたが、同じ行を何度も読んでしまう、行を飛ばしてしまうなど読書の苦手な子どもがリーディングトラッカーを使用することによって、本が読みやすくなる場合があります。子どもたちの読書活動に対する合理的配慮のひとつとして、図書館に置いてみてはいかがでしょうか。

販売されていますが、自分で簡単に作ることもできます。人によって識別しやすい色があるため、何色か作っておくとよいでしょう。学校連携パックの「ノーマライゼーション」にも市販のものが入っています。



◇ クリアファイルを用いた作り方 ◇

色付きのクリアファイルを、18～20cm×3cm 程度の長方形にカットします。

長辺を横にして、上下にマスキングテープを貼って中央に8mm～1cm の隙間を作ります。

この隙間から字を読みます。

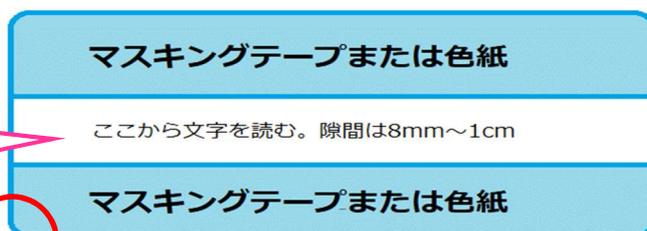
※ マスキングテープは無地のものを使いましょう。柄が入っていると、読むことに集中できなくなります。

◇ ラミネートフィルムを用いた作り方 ◇

ラミネートフィルムに色紙を挟んで圧着した後、18～20cm×3cm 程度にカットします。

最初に図面を作っておけば、A4 サイズのラミネートフィルムで複数個を同時に作ることもできます。

人により見やすい色が違うため、この部分の色を変えて何種類か作っておくとよいでしょう。



自作するときは、四角を丸くカットするのを忘れずに！！

「としょかん通信」初の試みで、リーディングトラッカーを付録としてお届けします。作り方を紹介した、2種類のリーディングトラッカーが届いていると思います。リーディングトラッカーをすでにご存知の方もいるでしょうが、「初めて見る」という方はぜひ一度 本を読むときに紙面に当ててお試しください。

リーディングトラッカーを図書館に置いて利用者に貸し出す館も、少しずつ増えてきました。この原稿を書いている学校連携担当も、書類の細かな文字を読むときには、自作のリーディングトラッカーを使っています。

地域館通信 【新町図書館】 TEL: 0274-42-3100

☆これからの事業予定を紹介します☆



- こども1日図書館員：7月24日（水）・25日（木）
図書館の仕事を体験します♪（窓口業務・本の整理・ブックカバーかけ）
- 本のこと「ひきうけ隊」：7月27日（土）
図書館職員が児童書の選書方法やおすすめの本を紹介します♪
- こわいおはなしの会：8月16日（金）
新町朗読会の方々による怪談の読み聞かせや紙芝居・クイズなど
- 夏のおはなしの会：8月17日（土）
新町図書館おはなしの会の方々による夏にちなんだ絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊びなど

毎月、企画展として図書館職員が季節や話題性などを考慮して一般書・児童書・視聴覚それぞれのジャンルで利用者の皆さんにおすすめしたいものを選んで展示しています！貸し出しは可能ですので、来館の際にご覧いただければと思います♪

🍷 合理的配慮とは 🍷

国土地理院ウェブサイトより

外国人向け地図記号（ピクトグラム）の例。スーパー・コンビニを表しています。



何らかの障害により通常の資料（情報）の利用が困難な人々に対し、その特性に合わせたサービスや機器を提供することにより、資料（情報）を利用しやすくするための配慮です。

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が平成28年4月1日から施行されたことに伴い、学校にも「合理的配慮」が求められています。環境整備として、拡大鏡やリーディングトラッカー、DAISYなどの導入、また人的支援があります。館内の注意書きにユニバーサルデザインフォント（読みやすく工夫された字体）やピクトグラム（絵文字など）を使うのも合理的配慮のひとつです。

日本図書館協会では「図書館における障害を理由とする差別の解消の推進に関するガイドライン」を作成し、ホームページ上で公開しています。



高崎市立中央図書館 学校連携担当：杉原・高橋・本間・岩上

TEL: 027-322-6767 / FAX: 027-324-3423

Mail: toshokan@city.takasaki.lg.jp

